

(一社) 広島県歯科技工士会生涯研修『基本研修：専門課程』

『抄録』 『義歯の咬合と Digital Denture の動向』

義歯製作の歯科技工を行う上で補綴装置の咬合と審美は、欠かすことの出来ない分野である。臨床技工で大切なことは、正確な口腔内情報により客観的な制作技工を行う素材を適切に分析および解析し、それを効率よく実践する事だとされています。それには、担当歯科医師との十分なコミュニケーションが基本で、患者の主訴もよく理解し客観的な術式が重要であります。義歯を製作するうえで、トータルバランスの顎口腔系から全身に生理学的調和する機能審美補綴でなければならないとされています。近年の臨床技工は細分化され多様化しデジタル技工の進歩により複雑化して来ています。専門的に分科していくのは、それなりに進化して歯科医学の発展のためにも有用である。しかし、多すぎるほどの高度な情報があらゆる分野で得られるため、ベースとなる基本が大切に成って来ています。今回の基本研修専門課程では、『義歯の咬合とデジタルデンチャーの動向』について、総義歯製作の基礎的なことを整理し再確認をして見たいと考えています。時間の許す限り皆様と共に実りあるセミナーになれば幸いです。

(公社) 日本歯科技工士会生涯研修認定講師

佐藤補綴研究室 佐藤 幸司